

平成26年度第4回国立市立学校給食センター運営審議会記録（要旨）

日 時	平成27年1月22日（木）午後2時00分から午後3時10分
場 所	国立市立学校第一給食センター会議室
出席委員	17名
欠席委員	1名
傍 聴	0名
事務局	6名（本多所長、山崎主査、原田主査、横山栄養士、後藤主事、岩田栄養士）
議 題	事業報告について（資料1） 学校給食費の今後の状況等について（資料2） その他

1. 事業報告について（資料1）

事務局から資料に基づき、前回の審議会以降本日までの給食センターにおける主な事業と放射性物質の測定等に関する対応を報告した。

【質問・意見等】

特になし

2. 学校給食費の今後の状況等について（資料2）

事務局から資料に基づき、各市のここ3年間の収支状況について説明を行った。

国立市の給食費改定の時期がいつ頃になるかは、まだ正式には決まっていない。

消費税の10%への値上げが延期された。また、1月の定例市教委で就学援助費の教育委員会からの支払い時期が各学期末であったのを前倒して仮払いできるような要綱改正が提案される予定である。そのような事情もあり、今期の運営審議会でも教育委員会からの給食費改定の諮問はない可能性がある。なお、7月からの新しい運営審議会でも引き続き検討はされていく。

【質問・意見等】

- ・資料2の学校教育費各市収支状況の1枚目の「(補助金あり)」の市は、お子さん1人に対してとか、1カ月とか、どういう単位の400円なのか。

他市へ確認して、次回回答する。

- ・国立市の単年度収支での赤字の幅が非常に大きくなっているが、結構状況が厳しい中で、なぜそういった見送りの判断をしたのか。

単年度収支状況が平成24年度、25年度と悪くなっている中で、献立の内容が寂しいという意見もないわけではないので、できるところまでは給食費を上げずに頑張っていく中で、27年度に新しい運営審議会になって、しかるべき判断をしていくことになると思う。

- ・収支バランスの理想というか目指すところはどこか。物資購入代金以外はどこまで含まれているのか。

給食費会計というのは、給食費会計自体は給食費だけで食材を賄っているが、基本的には収入

と支出がプラスマイナスゼロになるような物資の購入の仕方が一番望ましい。過去の運営審議会で、繰越金をあまり増やすのは望ましくないというようなご意見があったということがあり、繰越金を減らしてするために、献立に余裕を持った中で給食を提供したことはある。

物資購入代金は食材だけである。

- ・設備更新とか改修は、特別会計みたいなものがあるのか。

市の一般会計予算から支出している。

- ・今期の改定予定はないとのことだが、予備的な議論と情報提供はやっておいたほうがいいのかと思うので、意見交換していただけたらと思う。結果的に赤字が出た場合は、公費で補てんと、食材を何とか抑えて、翌年度以降の物資購入代金を何とか抑えるというところまでやるということでしょうか。

基本的には赤字にならないように、給食費会計の中で賄うことになる。公費の補てんは、現状の中ではできない。条例を設けて、基金を設立しない限りは、現状ではできないことになる。

- ・赤字が続くと翌年度繰越金が減り、いずれどうにもならない状況になるのか。

そのようなことにならないよう、1食当たりの単価を抑えて対応するということになる。実際、今は、1食あたり単価を抑制して提供しているところなので、1食当たりの献立の内容を充実させるためには、値上げということも必要なのではと考える。昨年4月に消費税が8%になり、実際のところ、食材費がじわじわと実際上がってきている。資金繰りが厳しくなった原因は、食材費高騰が影響していると考えている。牛乳も4月以降、価格の改定がありそうな情報も得ており、27年度、引き続きこの問題について協議していく中で、教育委員会から諮問をしていただくということになるのではないかと考えている。

- ・未納に関してはどの程度具体的に対策をしているか。

なるべく口座振替の加入者を増やしていく。家庭の事情等で支払いが難しい方については、就学援助が受けられる可能性などもあるので、案内をするようにしている。また、相談事は市役所の「ふくふく窓口」も案内するようにしている。

- ・国立市は何で牛乳瓶にこだわっているのか。
- ・牛乳瓶にこだわっているのではなくて、牛乳にこだわっているのではないかなと思う。学校給食は、食育ということの一つ重要な要素として取り入れているので、自然のままのおいしい牛乳を飲むというのは、非常にいいことなのではないかなと思う。

平成17年4月に給食費の改定を行ったときに、瓶牛乳を継続するというところで給食費改定を行ったが、そのときにあわせて低温殺菌牛乳を導入したというような経緯がある。

- ・徴収について家庭訪問とか相談をやっていけるのか、どういうことが必要で、課題なのか。
- ・小学校の先生は大変だと思う。徴収まではちょっと無理であると思う。

国立市の場合、今すぐに学校のほうで給食費を集めるという方向には、現段階では、まだ難しいのではと考えている

- ・学校で給食費徴収が出来ないと言われると、できないことはないかもしれないけれどもというところは、了解いただければと思う。

- ・ 国立市の今の徴収方法は昔からなのか。

そうである。

- ・ 先生がいろいろなことを把握しているのは、大事なことである。

話は少しそれるが、集中的に市の債権管理をする担当課を置いて、集中的な徴収を行って効果を上げている市は、実際あるという情報は聞いている。

3．その他

【事務局から】

- ・ 今後については、必要に応じて給食費改定関係の情報等があれば、次回以降の会議の中でも情報提供していく

4．閉会挨拶（谷川会長）

以上で本日の議題が全て終わりました。次回は2月19日木曜日となりますので、よろしくお願いたします。それでは、第4回給食センター運営審議会を終了いたします。ありがとうございました。